

令和 5 年 6 月 22 日

産業建設常任委員会会議録

塩竈市議会事務局

塩竈市議会産業建設常任委員会会議録

令和5年6月22日（木曜日）午前10時00分開会

出席委員（5名）

阿部真喜委員長

浅野敏江副委員長

西村勝男委員

伊勢由典委員

山本進委員

出席議長団（1名）

阿部かほる議長

欠席委員（1名）

香取嗣雄委員

説明のために出席した職員

市長	佐藤光樹	副市長	千葉幸太郎
技監	鈴木昌寿	産業建設部長	草野弘一
上下水道部長	鈴木良夫	産業建設部次長兼水産振興課長	鈴木陸奥男
産業建設部次長兼まちづくり・建築課長	星潤一	産業建設部商工観光課長	横田陽子
産業建設部土木課長	鈴木英仁	上下水道部業務課長	渡辺敏弘
上下水道部上水道課長	熊谷孝行	上下水道部下水道課長	佐藤寛之
産業建設部水産振興課水産総務係長	三浦賢		

事務局出席職員氏名

事務局 長 相澤 和 広

議事調査係長 石垣 聡

議事調査係主査 工藤 聡 美

議事調査係主査 梅森 佑 介

会議に付した事件

議案第43号 令和5年度塩竈市一般会計補正予算

調査事件 水産業及び魚市場事業に関することについて

港湾整備に関することについて

商工業及び労働対策について

観光の振興について

午前10時00分 開会

○阿部（眞）委員長 ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

本日の委員会におきましては、新型コロナウイルスへの感染防止の観点から、発言の際にマスクを外していただかなくても差し支えありません。また、議場の扉を開放するなどの感染症対策を行いますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

本日の会議に欠席の通告がありましたのは、香取嗣雄委員の1名であります。

本日の審査の議題は、議案第43号「令和5年度塩竈市一般会計補正予算」の1件であります。

これより議事に入ります。

議案第43号を議題といたします。

それでは、当局の説明を求めます。佐藤市長。

○佐藤市長 おはようございます。

産業建設常任委員会のご審査を賜るに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日の委員会で審査をお願いいたします案件は、「令和5年度塩竈市一般会計補正予算」の1か件でございます。補正予算の詳細につきましては、この後、それぞれ担当課長からご説明させていただきますので、よろしくお聞き取りの上、ご賛同賜りますようお願いいたします。

○阿部（眞）委員長 鈴木水産振興課長。

○鈴木産業建設部次長兼水産振興課長 議案第43号「令和5年度塩竈市一般会計補正予算」のうち、水産振興課に係る予算について、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、資料No.8、議案資料36ページをご覧ください。

水産業・水産加工業元気アップ支援事業になります。

概要ですが、多くの水産業・水産加工事業所では、出荷までの製造過程において冷蔵庫や冷凍庫を使用するため、電気料の値上がりによる影響が顕著となっております。このことから、水産業・水産加工業を支援するため、水産関係団体などが企画をいたします売上げ向上や販路拡大につながる取組について、補助するものでございます。

事業内容でございますが、補助対象事業といたしまして、売上げ向上や販路拡大に結びつく直販、外販事業、商談会などとしております。補助金額は、補助対象経費の3分の2以内で、上限額50万円とし、事業費が20万円以上の事業が、対象となります。補助対象者は、市内水産関係団体、または、市内に活動拠点を有する事業者グループなどになります。

事業費及び財源内訳ですが、事業費200万円、財源は、全て新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金となります。

今後の予定といたしましては、議会でお認めいただき次第、来月から募集及び申請受付を行い、補助金交付団体を決定してまいりたいと考えてございます。

次に、同事業に係る歳出予算について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、資料No.7、補正予算説明書11ページ、12ページをお開き願います。

第6款農林水産業費第2項水産業費第2目水産業振興費第18節負担金補助及び交付金といたしまして、事業内訳記載の水産業・水産加工業元気アップ支援事業に200万円計上してございます。

最後に、同事業に係ります歳入予算について、ご説明いたします。

同じ資料の3ページ、4ページをご覧ください。

第15款国庫支出金第2項国庫補助金第1目総務管理費国庫補助金、説明欄記載の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金7,353万9,000円の内数となっております。

水産振興課からの説明は、以上となります。ご審議のほど、よろしく願い申し上げます。

○阿部（眞）委員長 横田商工観光課長。

○横田産業建設部商工観光課長 それでは、続きまして、議案第43号「令和5年度塩竈市一般会計補正予算」のうち、商工観光課に係る補正予算につきまして、ご説明いたします。

恐れ入りますが、資料No.8、議案資料37ページをお開きください。

高压電力契約者事業継続支援金について、ご説明いたします。

1、概要ですが、電気料金高騰の影響を受け、厳しい経営状況にある市内事業者の事業継続を支援するため、小売電気事業者から高压電力の供給を受けており、施設に係る電気料金を負担している事業者の方へ支援金を支給しようとするものです。

事業内容です。対象者は、高压電力契約事業者で、市内に本社、または、主たる事業所を有する中小企業者、小規模事業者及び個人事業主で、現時点で事業を行っており、今後も事業継続の意思がある事業者で、詳細は、記載のとおりでございます。

支援金額は、1事業所当たり15万円です。申請支給方法ですが、申請書提出後、審査、支給決定を行いまして、口座振込により、行います。申請受付期間は、令和5年8月中旬から9月末までを予定しております。

3、事業費及び財源内訳ですが、事業費は5,140万円で、財源は、全額新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金となります。

4、今後の予定としましては、補正予算お認めいただいた後、7月中に制度周知を図り、8月から申請受付開始を予定しております。

次に、事業に係る補正予算について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、資料No.7の補正予算説明書の歳出、13、14ページをお開きください。

説明の都合上、歳出からご説明いたします。

第7款商工費第1項商工費第2目商工振興費、事業内訳欄記載の高圧電力契約者事業継続支援金事業に5,140万円を計上しております。

事業費の内訳につきましては、第1節報酬に83万8,000円、第4節共済費に14万2,000円、第8節旅費に7万円、第10節需用費に100万円、第18節負担金補助及び交付金に4,935万円を計上しております。

続いて、歳入予算について、ご説明いたします。

同じ資料の3ページ、4ページをお開きください。

第15款国庫支出金第2項国庫補助金第1目総務管理費国庫補助金第1節総務管理費国庫補助金として、説明欄記載の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金7,353万9,000円のうち、高圧電力契約者事業継続支援金事業として5,140万円を計上しております。

高圧電力契約者事業継続支援金事業についてのご説明は、以上です。

次に、塩竈に寄ってけさいん観光プロモーション事業（第4弾）について、ご説明いたします。

資料No.8、議案資料38ページをお開きください。

1の概要です。エネルギー価格高騰等により、影響を受けている市内観光事業者等を支援するため、観光客に対し、市内参加店舗で使用できるクーポン券を配布することで、観光誘客を図ろうとするものです。

2の事業内容です。塩竈市内や松島町、仙台市秋保地区の宿泊客や観光物産イベントの購買客に対し、市内参加店で利用できるクーポン1,000円分がついたパンフレットを配布し、塩竈への誘客促進と観光消費拡大を図ります。第4弾となります今回は、各宿泊施設や本市観光の閑散期である冬季を実施時期としまして、さらにクーポンの配布枚数や配布先を拡充し、より効果的な事業展開を図ります。

3、事業費及び財源内訳ですが、事業費は1,100万円で、財源は、全額新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金となります。

4の今後の予定につきましては、補正予算をお認めいただいた後、夏頃から宿泊施設、参加店舗の募集取りまとめを行い、また、周知広報活動も行ってまいります。その後、換金業務等の業務委託に係る契約事務や印刷物の準備等を経て、11月後半頃から2月までの事業実施を予定しております。

次に、事業に係る補正予算について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、資料No.7の補正予算説明書の歳出、13、14ページをお開きください。

説明の都合上、歳出からご説明いたします。

第7款商工費第1項商工費第2目商工振興費、事業内訳欄記載の観光プロモーション事業に1,100万円を計上しております。事業費の内訳につきましては、第10節需用費に2,000円、第12節委託料に349万8,000円、第18節負担金補助及び交付金に750万円を計上しております。

続いて、歳入予算について、ご説明いたします。

同じ資料の3ページ、4ページをお開きください。

第15款国庫支出金第2項国庫補助金第1目総務管理費国補助金第1節総務管理費国補助金として、説明欄記載の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金7,353万9,000円のうち、塩竈に寄ってけさいん観光プロモーション事業として1,100万円を計上しております。

次に、旅客ターミナル施設改修事業に係る補正予算について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、資料No.7の補正予算説明書の歳出、15、16ページをお開きください。

説明の都合上、歳出からご説明いたします。

第8款土木費第3項港湾費第1目港湾管理費、事業内訳欄記載の旅客ターミナル施設改修事業に145万8,000円を計上しております。

事業費の内訳につきましては、第14節工事請負費に145万8,000円でございます。

事業内容としましては、設備の老朽化に伴いまして、除害加圧ポンプ配管並びにスプリンクラー設備に不具合が発生したため、修繕工事を行ったものでございます。

修繕工事につきましては、安全衛生管理上、早期の対応が必要であったため、既存予算で対応いたしました。今後の工事費が不足することから、執行額を補正予算により、追加的に措置しようとするものでございます。

歳入予算について、ご説明いたします。

同じ資料の3ページ、4ページをお開きください。

第19款繰入金第1項基金繰入金第4目ミナト塩竈まちづくり基金繰入金として145万8,000円

を計上しております。

商工観光課からのご説明は、以上でございます。よろしくお願いいたします。

○阿部（眞）委員長 これより質疑を行います。委員各位のご発言をお願いいたします。

なお、発言の際は、委員会室での開催と同様に着座のままで構いませんので、ご案内を申し上げます。

それでは、ご意見、ご質問のある委員の方は、挙手をお願いいたします。伊勢委員。

○伊勢委員 ちょっと確認ということで、確認します。

1つは、37ページのところでですね。

資料No.8のところで、高圧電力契約事業者事業継続支援金ということで示されております。

15万円の1件当たりということで、329件の対象で事業しようということなんですね。

既に総括で志賀委員も聞いていますので、重複は避けまして、宮城県でやっている事業で、第2次募集かな。水産業電力コスト削減だとか、あるいは、これは、製氷関係とか、そういうところを対象にしているようです。空調デマンド監視とかというやつで3種類ぐらい、50万円、500万円、100万円ということで、5月15日から7月28日までの関係で申請を受け付けるということで、これは、県と直接事業者の関係なので、市を通してということではないんですが、現状について、こういった県の事業の関係で、市内の事業者の方々の申請の状況なり対応の状況だけ、ちょっと確認させていただきたいと思います。

○阿部（眞）委員長 鈴木水産振興課長。

○鈴木産業建設部次長兼水産振興課長 それでは、県補助事業の関係で、ご回答申し上げます。

申請実績というよりも、我々が把握しているのは、県で事業制度を設計されて、事業者に組合等を通じましてご説明いただいたときに、各市内事業者からの声としては、既にデマンド装置を取り付けていただいている施設が多いということで、なかなか新たにという話は、なかったと我々、認識をしております。

以上でございます。

○阿部（眞）委員長 伊勢委員。

○伊勢委員 デマンドという監視装置は、既についているので、県の事業でそれを申請したりするというのは、今のところ見当たらないということですね。分かりました。

そうすると、なかなか厳しいなど。既に県のそういうメニューが、あるんだけど、塩竈市単独の事業で何とか乗り越えてくださいという感じになるのかなと思いますが、今後、電力

の関係で、6月1日から引き上がっているわけですね。東北電力でも24%。こういった国の動向の流れとして、今後、引下げを進めていく国の意向が、あるのかどうか、あるいは、情報的なものが、あるのかどうか、ちょっと教えていただければと思います。

○阿部（眞）委員長 横田商工観光課長。

○横田産業建設部商工観光課長 電気料金に係る国の動きということでございます。

国では、電気料金への激変緩和措置としまして、今年の4月から、1キロワットアワー当たり3.5円の支援措置が、電力会社に入っております、間接的ではございますが、事業者支援として行われております。

ただ、こちらの支援制度ですけれども、9月から、3.5円から1.8円に下がっていくという予定も示されているということで、よろしく申し上げます。

以上です。

○阿部（眞）委員長 伊勢委員。

○伊勢委員 まず、3.5円が1.8円と引き下げられるということは、その分、言ってみれば引き上がることになるのかな。電力としては、どうしても国の補助のやつが入ってこないの、引き続きやっぱり電力高騰につながっていくのかどうか、捉え方だけ、ちょっと教えてください。

○阿部（眞）委員長 横田商工観光課長。

○横田産業建設部商工観光課長 電気料金の高騰につきましては、ピークは超えていると思われるものの、やはり今後も大きく下がる見通しがないということが言えると思います。

また、先ほど、すみません。ちょっと私の言い間違いでしたら訂正させていただきますが、現在3.5円のところ、9月からは1.8円の支援に変更されますので、よろしくご理解お願いします。

○阿部（眞）委員長 山本委員。

○山本委員 私から、何点か。資料No.8、まず、36ページの水産業・水産加工業元気アップ支援事業。

実は、今朝、仲卸、それから、魚市場周辺の事業所を何社か回ってまいりました。やはり各業界に共通する課題は、ロシアの関係もあって、原料の不足、それから原料高、あわせて、電気料の値上げということで、トリプルショックというか、そういった状況の中で今やっているという。そういう中で、今回の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とした支援制度については、大変ありがたい。我々の窮状を真摯に受け止めて、即具体的な施策と

されたことについては、金額というよりも行政のそういった真摯な対応に感謝するというのが、業界の方々の声であるということをまず冒頭お伝えさせていただきます。

その中、今回、20万円以上の事業対象とするわけですけれども、水産関連団体、または、市内活動拠点を有する事業者グループは、何社想定されていますか。

○阿部（眞）委員長 鈴木水産振興課長。

○鈴木産業建設部次長兼水産振興課長 我々、この事業を設計させていくに当たりまして、事業団体、関係団体と協議をさせていただいたところでございます。想定といたしましたグループについては、3社以上を想定させていただいております。よろしく願いいたします。

○阿部（眞）委員長 山本委員。

○山本委員 今、冒頭お話ししましたように、非常に逼迫した状況の中で日々活動を続けられているということで、多分、業界の方々もこういう窮状であるけれども、前向きに営業を展開されている。一番大事なのはやっぱり大手商社、外販、そして、やっぱり末端のユーザーに対する完全なるその商品の提供というものが、日々の業務課題ということでやっておりますので、当然この申請があつて受理して、そして、交付して、その後、実績報告ということも予定されているんですね。

○阿部（眞）委員長 鈴木水産振興課長。

○鈴木産業建設部次長兼水産振興課長 お答えいたします。

委員ご指摘のとおり、今回、水産関係団体の提案型によります補助となりますので、お話しいただきましたとおり、申請に基づいて実施をいただいて、終わり次第、実績報告書を上げていただいて、その費用対効果を我々が、確認させていただくという手続を予定しております。

以上です。

○阿部（眞）委員長 山本委員。

○山本委員 まず、その際、入り口の部分で申請を受ける場合、業界の方々は、これまでは、例えば、雇用調整助成金とか、グループ補助金とか、また、事務職員は、申請が苦手というか、慣れていない。そういう意味では、やっぱり啓蒙も、7月から当然、公募が始まるんですけれども、やっぱりその説明を丁寧にしていただきたい。そして、希望される事業者に対して、きちんとした形で交付されるように、そして、実績報告を受けるというだけじゃなくて、今後の事業展開というものをどのように考えているのかということも声としてやっぱり集約し、検証して、次のあれに生かしていただきたいと私は思います。それを一応希望として、要望として

申し上げておきます。

それから、電力料金、これも一般家庭も6月から、大体32%かな。値上げするような情報も入っておりますけれども、塩竈市内のいわゆる水産関連も冷凍冷蔵施設というものもあって、いろんな漁船誘致というのをしているわけでありましてけれども、聞くところによると、やはり40%程度負担が増になる。今、国の激変緩和措置も9月で一応終わるということになってしまおうと、国の料金の規制、上限規制というのが、撤廃されて、ある程度自由になってくると、その辺の負担が、今後大きくなっていく。ですから、極端な話、原料も、必要な原料、素材、オーダーを受けてから、原料を確保し、製造し、そして、即日出荷という、極力施設を使わないようにしているというのが、実情であります。これは、同じように、その辺のところを、例えば、329件の契約戸数ということでありましてけれども、実際問題、平均的なこの各社の電力料金の負担割合というものをどのように捉えて、また、今回、どういったような値上げなのかということの調査は、されておられますか。

○阿部（眞）委員長 横田商工観光課長。

○横田産業建設部商工観光課長 答えいたします。

まず、329社につきましては、電力会社から名簿の提供は受けておりませんで、ちょっと全貌の把握は、難しい部分がございますけれども、事業者を対象とした価格高騰に対するアンケート調査を昨年11月の時点で実施したものがございまして、こちらですと、まず、エネルギー価格高騰に対する影響額ということで、アンケートによりますと、回答数のうち、100万円以上の影響を受けたという回答をされている方が、全体の4割ほどございました。さらに、そのうちになりますけれども、500万円以上のところが6%、1,000万円以上のところが6%といった結果でございました。

以上になります。

○阿部（眞）委員長 山本委員。

○山本委員 多分、言われたとおりのデータだと思います。4割から6割ぐらいアップすることになるということで、大変その施設の使い回しというのは、今後、大きな課題になってくるだろうと思います。そういう意味では、単に電力料金の問題じゃなくて、その業者の業態の根本に関わってくるというか、いかにそれをやっていくかということのやっぱりシステムの見直しを今、求められているという状況のようでありまして、先ほど申し上げましたように、とにかく窮状に、業界の基準に対して、適切に答えてくれた行政に対して、まずは、感謝したいとい

うようなこともあります。先ほど水産振興課にも言いましたけれども、今後、実績、(3)に申請支給方法がありますけれども、審査支給決定、下が口座振込、その後、実績報告を受ける中で、なお、どのような実態だったのかというようなこともぜひ検証され、次の施策に反映させていただきたいと思います。これは、要望です。

最後に、商工観光課で、塩竈に寄ってけさいん観光プロモーション事業ですけれども、これは、3番目の事業費内訳で750万円を予定しておりますが、3万枚で、この利用率25%の根拠、それだけ教えてください。

○阿部(眞)委員長 横田商工観光課長。

○横田産業建設部商工観光課長 答えいたします。

これまで、第1弾から第3弾まで3回にわたり、事業を実施してきたところでございます。これまでの中で、第2弾と第3弾ではそれぞれ25.6%、第4段では26.9%の成果が上がったところでございますが、今回、25%とさせていただいた根拠としましては、まず、前回の3回目で秋保からの誘致という部分にも取り組んできまして、秋保でも配布させていただいたところ、実績が10.5%でございました。今回、4回目となりますので、塩竈市の情報発信ということで、もう少し配布部数を秋保方面でも拡大したいということを考えております。

また、一方、松島も対応できる旅館が少し減ってきたりですとか、また、チェックアウト時の自動精算のシステムというような理由もありまして、対応できないと言われたりする部分もございますので、相対的に松島の割合も減ってきてしまうということもございます。ちょっと弱気かもしれませんが、もう少し秋保でも増やしたいというような趣旨から、このぐらゐの設定とさせていただいたところでございます。よろしく申し上げます。

○阿部(眞)委員長 山本委員。

○山本委員 ありがとうございます。

最後に、まとめ的な発言になりますけれども、今回の電力料金の値上げ問題とか、あるいは、いろんなその物価等々の高騰によって、特に市内の業界の方々に支援制度をするわけですけれども、保育所、幼稚園等についても、子供たちにも食材の確保のための支援等々をやっています。特にやはり水産、あるいは、水産加工業に対するその支援というものにやっぱりきちんとした形でやるんだと。それで、他の政策についても、同じようにやるんだということで、その辺の政策としての区分けというか、その辺もきちっとするために、先ほど言ったその交付後の検証というのが、大事ですので、でない、なんで水産業だけなんだと、なぜ水産加工業だけ

なんだという意見がありますから、当然、学校教育とか、幼児教育とかをやっていますし、福祉の施策からの独り暮らしとか、そういった低所得者世帯とかがあるわけですけれども、それだけ広範にわたっちゃうんですね。その辺のところは、めり張りをつけてみての検証というのが大事だと思うので、今後に期待したいと思います。

以上です。

○阿部（眞）委員長 西村委員。

○西村委員 1点だけ聞かせてください。

塩竈に寄ってけさいん観光プロモーション事業なんですけれども、今年ゴールデンウィークに松島のホテルにちょっと泊まったんですが、本当に部屋には、テーブルの上に、一応そういう観光プロモーションと割引券とか、いろいろあったので、塩竈に寄ってけさいん観光プロモーション事業での利用券、クーポン券があるのかと思って見ましたら、ない。仙台の観光地で遊ぶ場所の案内になっていたの、第4弾なんですけれども、第2弾、第3弾までのその配布方法をちょっと教えてください。

○阿部（眞）委員長 横田商工観光課長。

○横田産業建設部商工観光課長 これまでの配布方法につきましては、宿泊施設にお願いして、宿泊施設でチェックイン、または、チェックアウトの際に、若干ご説明をいただきながらお渡ししていただいております。

ただ、先着順というか、なくなり次第終了という状況もありますので、もしかするとちょっと既になくなってたのかもしれないということになります。よろしくお願いします。

○阿部（眞）委員長 浅野委員。

○浅野委員 私も同じく38ページの塩竈に寄ってけさいん観光プロモーション事業について、お聞きしたいと思っております。

これまで、第1弾から第3弾までという流れですが、当然、これまでの事業の成果を精査されて、これまでと同じ系統で行っているのか、また、これまで第1弾から第3弾までの行った中で反省点とか、また、よかった点とかは、それぞれ精査されて、何をどう変えて、また、変えないで、この第4弾になっているのか、その辺、お聞きしたいと思っています。

○阿部（眞）委員長 横田商工観光課長。

○横田産業建設部商工観光課長 この事業につきましては、毎回少しずつ課題を見つけながら、改善を加えてきて実施しているところですが、これまでの課題としましては、やはり

宿泊施設側の負担ということも、利用促進を考えたときに課題となっておりましたので、今回、先ほども配布するタイミングのお話もありましたけれども、チェックイン前に配布していただくのが理想ということではありましたが、そこは、事情により、チェックアウトのときになっても仕方ないということで考えておりました。

ただ、秋口の繁忙期に実施しますと、どうしてもフロントの対応が、時間がかけられないということもありまして、今回あえて閑散期に実施したほうが、より説明などもしていただけたりですか、また、宿泊客にも時間的余裕がある方が多いようだというようなアドバイスもございましたので、今回は、あえて閑散期の時期にして、実施してみるということもございます。実際、宿泊施設の規模が大きければ大きいほど、利用率が、実はちょっと低迷する傾向がございまして、小さい宿泊施設のほうが利用率が高いといったデータもありますので、恐らく説明をしていただけるかどうかといった部分も大きいのかなと考えております。

変わらない部分につきましては、これまでもクーポン付きのパフレットを配布してきたこととなりますが、こちらの部分もさらに改善を加えつつ、基本的には、クーポンの配布と、また、それと同時にアンケートも実施しますので、そういった観光客の動向もデータとして把握したいということもありますので、その辺も実施、ダブルチャンスもつけたりとか、物産品が当たるダブルチャンスなどもやりながら、今回は、秋保地区にも広げることで、さらにそういった観光客の動向等のデータももう少し集められるのかなということも考えております。

以上です。

○阿部（眞）委員長 浅野委員。

○浅野委員 ありがとうございます。

私、この中で気になったのは、やはり塩竈市の観光業界というか、お店に来ていただきたいという、当然そういったプロモーションなんですけれども、まず、受け入れるお店、飲食店だったり酒屋さんだったり、観光客に寄っていただくようなお店との連携といたしますか、このクーポンを発行することは、手挙げ方式なのか、こちらからこういったクーポンがありますけれども、ご参加いただけますかという積極的なお願いで歩いているのか。例えば、ホームページか何かに、今回こういうのを出しますとか、どういったご案内のし方をして、塩竈市の各お店が参加できるような状況、まず、受入れ方法をしっかりと意識を持っていただかなければ、せっかく来ていただいたお客さんは、わざわざ来ていただくわけですので、その受入れ体制が本当にウェルカムというような状況をつくっているのか。例えば、せっかく来たけれども、商品

がなかったとか、品切れですとか、それは、今、やっていませんとかとなってしまうたら、逆の効果になってしまうんじゃないかなと思うので、その辺の受入れの事業者とは、どのような話合いをして、また、そこを拡大もしているのか、どうなのか、そこもちょっと気になる。せっかく第4弾をやるので、店舗が縮小するんじゃなくて、増えていくならいいですけれども、その辺の今の状況は、どのようになっているんでしょうか。

○阿部（眞）委員長 横田商工観光課長。

○横田産業建設部商工観光課長 利用できるお店につきましては、基本的には塩竈市観光物産協会に入っている会員には、ご案内を送付するなどしまして、確実に意向を確認をさせていただいております。それ以外の方々につきましては、例えば、新しいお店には、ちょっと声をおかけするとか、もちろん受入れは問いませんので、特に、会員であるとかということは、問いませんので、受け入れられるようにしております。

また、店舗数につきましては、前回は、66店舗の参加がございまして、その前も65店舗などでしたので、なかなか多く増やすことはできてはいない状況なんですけど、やはりクーポンの性質からいいまして、観光客が寄る店という部分もありますので、多くて、入っていただいてもちょっと例えば、極端な話ですけれども、文房具店とか、そういうところじゃなく、やはり観光客が寄れそうなお店ということでご案内できたほうが、お店側にとっても利用につながるかなということがございますので、多少、最近お店をお辞めになったりするところもある中で、何とか現状を維持できているかなと考えております。

以上でございます。

○阿部（眞）委員長 浅野委員。

○浅野委員 今、だんだん新型コロナが収まってきて、最近、尾島町のお店も結構お客様が入っていらっしゃるとか、夕方通ると結構人の流れが、あるように見えております。当然、塩竈市の港町は、お魚、酒がおいしい、また、お寿司がおいしいということで、昼間のお客様もあるでしょうけれども、夕方から夜にかけてのお客様も観光客が交じっている可能性もたくさんあると思います。そういった意味で、居酒屋とか、そういったお店で、例えば、このクーポンを使うと何々が一品サービスですみたいなこともやっているお店も出てくるんじゃないかなと思います。そうすると、まだまだ今、66店舗、65店舗から、もっとその辺のお店が増えていくんじゃないか。そういうふうに観光客の流れが、昼間だけではなくて夜の観光客もどうやって塩竈に来ていただけるのか。その辺が、大変大事かなと思っています。特に松島であれば、ち

よっと足を伸ばして、塩竈まで行ってみようかと、仙石線の駅も両方きれいになって、本塩釜駅で降りたら、そこは、すぐ尾島町に近い距離がある。ぜひ、そこまで足を伸ばしてくださいというような、そういった流れが、できるんじゃないかなと思います。

ですから、できれば、この印刷の中に、そういった店舗のマップも増やしていただければなと思っています。きめの細かい、ただ1,000円のクーポン券をつけたというのではなくて、その1,000円が、どれだけの価値を生み出すかという、塩竈市のグレードアップは、インバウンドも含めて、これからもっともっとこの事業が、本当の意味で、25%とかじゃなくて、もう本当に50%を超えるくらいの利用客があると打って出てもいい時期じゃないかなと思いますので、ご期待申し上げます。よろしく願いいたします。

○阿部（眞）委員長 その他、ご意見、ご質疑のある委員の方、いらっしゃいますか。伊勢委員。

○伊勢委員 先ほど高電圧電力化契約事業の支援について、ちょっと確認しました。

それで、先ほど昨年11月のアンケートで電力の影響について、回答があったと思いますが、今回、15万円の支給で329件を対象にということです。その上で、もしできるならば、やっぱり電力の高騰の中で、どれだけ影響を受けているかというアンケートを一回やって、やっぱりこの結果を含めて検証していく。特に事業者の方々にとっては、負担の大きいものですので、やっぱり経営上も、あるいは、販売上もどれほどの影響が及んでいるのか、何が市としてできるのか、こういう考え方もあるかと思っておりますので、ぜひそういうアンケート等の調査を踏まえた、やっぱり施策の展開を今後ともやっていただいて、そして、それを検証するというのでやっていただければよろしいんじゃないかなと思いますが、もし考えがあれば、お示ししていただければと思います。

○阿部（眞）委員長 横田商工観光課長。

○横田産業建設部商工観光課長 ありがとうございます。

アンケート調査につきましては、これからも定期的にも実施してまいりたいと考えております。これまで新型コロナウイルスの影響調査といったような名目でのアンケートを実施してまいりましたが、いろいろな目的で重なってしまうのもどうかと思ひまして、今後は、一定程度、定点観測のような形で、市内の経済の状況を把握してまいりたいと思ひます。

以上でございます。

○阿部（眞）委員長 佐藤市長。

○佐藤市長 補足を申し上げます。

アンケートという形については、今、横田課長からご説明があった部分だと思います。ただ、市としては、それ以外にも物価高騰等々について、関係業界の皆様方にお集まりをいただいて、今の窮状について、お話を聞かせていただいております。それは、春先にもさせていただきまして、例えば、福祉団体の業界の方々からは、1.4倍ほどの電気料金が上がっていますと。七、八百万円だったものが、四、五百万円だったと思いますが、そういう窮状とかもお聞きをしております。あとは、いろんな業界団体の皆様方と春先から、もう既に20団体以上、意見交換をさせていただいておりますが、それぞれの業界の皆様方からもやはりこの電気代等々の燃料高騰分、これについての窮状については、いろんなお話を聞かせていただいておりますので、これらの話、ご意見を踏まえて、これからもできることには、市としてできることには、もう限りがございますけれども、国からの交付金等々を含めて、適時的確にやれる範疇で、窮状をお聞かせいただいたところから、丁寧に対応させていただくように努力し続けたいと考えております。

○阿部（眞）委員長 よろしいですか。ほかにご発言はありませんか。（「なし」の声あり）

暫時休憩いたします。

午前10時42分 休憩

午前10時43分 再開

○阿部（眞）委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

ほかにご発言ありませんか。（「なし」の声あり）

なければ質疑をこれにて終了いたします。

続いて、討論を行います。

討論の通告がありませんので、討論を終結いたします。

採決いたします。議案第43号については、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○阿部（眞）委員長 挙手全員であります。よって、議案第43号については、原案のとおり可決されました。

暫時休憩いたします。市長並びに当局職員の皆様は、ご退席いただいて結構です。

午前10時44分 休憩

午前10時45分 再開

○阿部（眞）委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、調査事件、水産業及び魚市場事業に関することについて、港湾整備に関することについて、商工業及び労働対策について、観光の振興についてを議題といたします。

初めに、先日、塩釜商工会議所へ行政視察を行い、様々なご意見などを伺ったところであります。その内容を踏まえながら、委員会としての意見を盛り込み、議長に対し、所管事務調査報告書を提出し、6月定例会最終日に所管事務調査報告を行いたいと考えております。

まず、お手元にお配りしております産業建設常任委員会所管事務調査報告案をご覧くださいと思います。

この案につきましては、さらに付け加える点、あるいは、修正、削除すべき点について、各委員のご意見を伺いたいと思います。各委員からのご発言をお願いいたします。

お配りしておりますこちらの資料、こちらに対して、何かご意見、ご質問、または、追加、削除等がある委員の方がいれば挙手をしていただき、発言をお願いいたします。伊勢委員。

○伊勢委員 再開発の関係で、最後の海岸通が、触れられております。矢部委員かな。矢部社長から、ストーリー性を重視したいと。本塩釜駅、海岸通、それから、たしか鹽竈神社のストーリー性を重視していくような形でという発言があったと思いますので、その辺を入れれば、テナントの誘致だけじゃなくて、まちづくりとの関係で少し整理できるんじゃないかなと思いますが、いかがでしょうか。

○阿部（眞）委員長 ありがとうございます。

伊勢委員のご意見のあったとおり、講師の方から、そういうお話がありましたので、もう一度確認をして、中に盛り込めるようであれば盛り込めるように進めて、修正をかけていきたいと思っております。ありがとうございます。

その他、ご意見、ご質問、追加、削除等の内容修正が必要なところがあれば、ご意見お願いいたします。大丈夫でしょうか。

それでは、ほかにご発言はございませんか。（「なし」の声あり）

暫時休憩いたします。

午前10時47分 休憩

午前10時48分 再開

○阿部（眞）委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

ほかにご発言はございませんか。（「なし」の声あり）

なければお諮りいたします。閉会中の調査事件、水産業及び魚市場事業に関することについて、港湾整備に関することについて、商工業及び労働対策について、観光の振興についてに係る調査を一応終結することにご異議ありませんか。（「異議なし」の声あり）

異議なしと認め、さよう決定しました。

次に、産業建設常任委員会所管事務調査報告については、各委員からのご意見を踏まえながら調整することとその調整については、正副委員長に一任いただき、当職より議長宛て、報告したいと思いますが、ご異議ありませんか。（「異議なし」の声あり）

異議なしと認め、さよう決定いたしました。

次に、お諮りいたします。6月定例会最終日に、委員長報告を行うことにご異議ございませんか。（「異議なし」の声あり）

異議なしと認め、さよう決定いたしました。

以上で本委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前10時50分 閉会

塩竈市議会委員会条例第29条第1項の規定によりここに署名する。

産業建設常任委員会 委員長 阿部 眞 喜